

別紙 1 新たに「選定」した建物や庭園

NO	選定番号	区	選定名称	推薦理由（抜粋）
1	第 15-001 号	下京	たかくらかいかん 高倉会館	明治 6 年（1873）に建てられた木造平屋建、総けやき造の講堂。大正 11 年（1922）、高倉学寮（大谷大学の前身）の講堂「貫練堂（かんれんどう）」を引き継ぎ、高倉会館として開館した。
2	第 15-002 号	非公表		
3	第 15-003 号	下京	えむらしょうてんしゃおく 江村商店社屋	昭和 13 年（1938）に建築された店舗併用住宅。屋根は、1、2 階共一文字瓦で美しく整えられている。8 畳のみせの間は、格天井と豪華である。
4	第 15-004 号	左京	かんさいせ みなーはうす 関西セミナーハウス	昭和 42 年（1967）に建築家・増田友也（元京都大学工学部教授）によって手掛けられたモダンイズム建築の建物。豊臣秀吉の三百年祭につくられた能舞台は、丸い柱が特徴的。
5	第 15-005 号	左京	もり いえ 森の家	設計者は澤島英太郎とされ、西向日の「向日庵」や北白川の「山本家」によく似ている。また藤井康二の設計した「聴竹居」にも見られる、小屋裏の丸い通気口のデザインとよく似た意匠を持つ。
6	第 15-006 号	左京	みなみやま だ け 南山田家	この建物は京都御所から移築したものと伝えられている。玄関の隣には式台がある。武家屋敷のような畳の間が田の字に配置され、台所（もとは土間）、縁側という間取りである。
7	第 15-007 号	東山	ひがしやまほ てる 東山ホテル	築 100 年前後の建物。内装は和風と大正風な洋風を MIX したような作りになっている。当時の真鍮の把手やガラス、建具、照明器具等、昔を感じられる。
8	第 15-008 号	東山	あかがねりぞーときょうと AKAGANERESORTKYOTO ひがしやま いちきゅうにご HIGASHIYAMA 1925	大正 14 年（1925）に建造された伸銅会社の社長の旧邸宅。厳かな正門を抜けると竹林と銅、燈籠の灯りが織りなす幽玄の世界が広がっている。屋根や雨樋などいたるところに贅沢にあしらわれた銅が目を引き、熟成した青銅の輝きを放っている。
9	第 15-009 号	山科	さいしゅうじ 西宗寺	文明 13 年（1481）に開かれた寺院で、山科本願寺を建立した蓮如上人御往生の地と伝わる。現在の本堂は弘化 2 年（1845）再建、北門（正門）は明和 6 年（1769）建築。春には広々

				とした境内一面に桜が咲き誇る。
10	第 15-010 号	下京	じゅうしんかいかん 重 信会館	昭和 5 年 (1930) に建築された寄宿舍で、昭和初期の建築らしいアールデコの特徴が味わえる。中央に入口、両脇に丸窓のある左右対称のつくりを基本とし、印象的な窓飾りや階段の意匠、蔦の絡まる外観など西洋と東洋が融合したエキゾチックな建造物。
11	第 15-011 号	南	しままつおじんじゃ 嶋松尾神社	産土神とされている嶋松尾神社は、松尾大社の分霊社で三神が祀られている。松尾祭の出発点であり、神幸祭・還幸祭で七社の神々を先導するのが嶋地区と吉祥院地区の榊御面とされている。
12	第 15-012 号	右京	ゆ り あん 優里庵	築 200 年を超える茅葺き屋根の古民家。梁や柱などの建材に立派なものが多く使われているとともに、おくども残っている。令和 6 年 (2024) に農家民宿として開業。